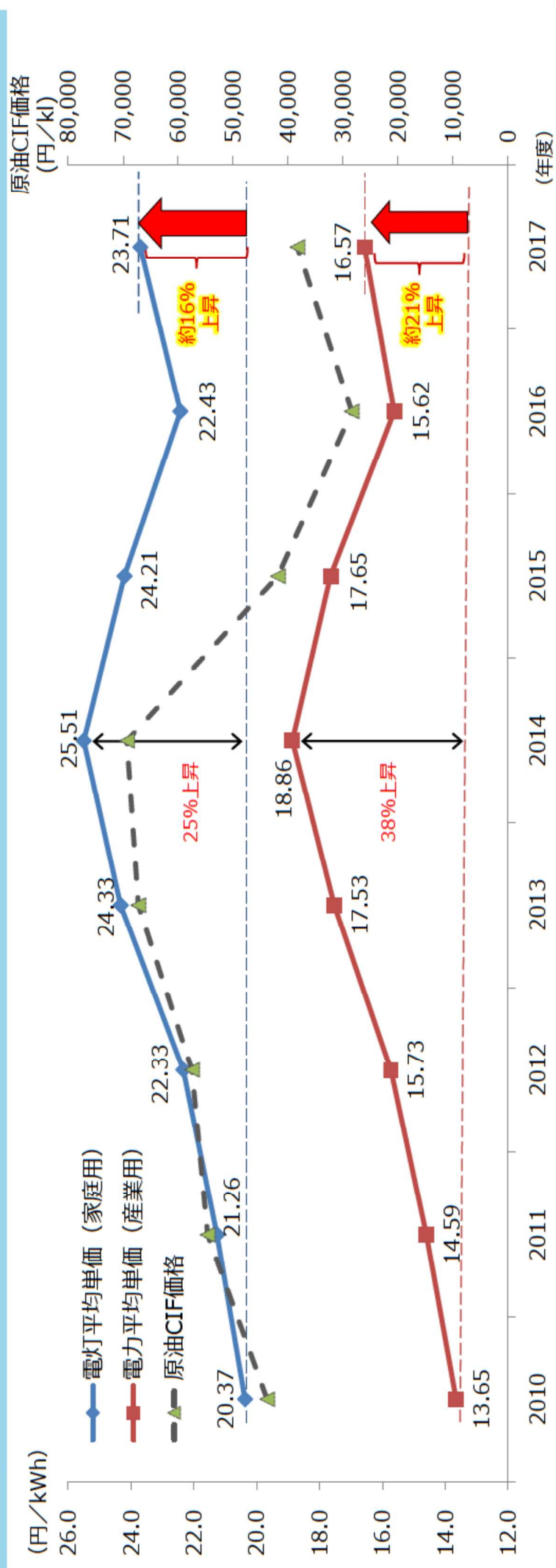


近年の電気料金の推移と変動要因（大手電力）

- 東日本大震災以降、大手電力（旧一般電気事業者）の値上げが相次ぎ、電気料金は大幅に上昇するも、2014年度以降は、原油価格の下落等により料金水準は低下。足下では原油価格が再び上昇。
- 震災前と比べ、2017年度の平均単価は、家庭向けは約16%、産業向けは約21%高い水準に。



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
再エネ賦課金	—	—	0.22	0.35	0.75	1.58	2.25	2.64	2.9
原油CIF価格	43,826	54,650	57,494	67,272	69,320	41,866	28,425	38,317	—
規制部門の料金改定	—	—	東京	北海道、東北、関西、四国、九州	中部	北海道、関西	—	関西	関西

※北陸電力は、自由化部門のみの値上げを2018年4月1日に実施している。

※上記平均単価は、消費税を含んでいない。

(出所) 電力需要実績確報（電気事業連合会）、各電力会社決算資料等を基に作成